

## 松尾市長が自ら語る「市長報告会」のご案内

### 「広町緑地の生物多様性がこんなに豊かに」

NPO法人・鎌倉広町の森市民協議会

理事長 家原義靖（新鎌倉山に在住）

松尾崇市長は10月25日、名古屋で開かれた生物多様性国際自治体会議で、広町緑地における保全活動の実績を発表しました。カナダ人参加者が「とても解かりやすかった」と感想を寄せるなど、発表はおおむね好評だったようです。



ギンヤンマも毎年、飛来する

#### 野の花が咲き、カエルやトンボが産卵

広町緑地では、私たち市民協議会を核とする田んぼ、畑、森、散策路の会などが、週末ごとに汗を流し田んぼや畑を復元、森の手入れをしています。その結果、姿を消していた野の花がよみがえり、多種のトンボ、カエルが産卵し、カルガモ、カワセミなど数々の野鳥が集まって来ました。尾根筋のヤマザクラ群落も、華やぎを取り戻しました。

#### 国際自治体会議での発表を再現

— 28日(日) 1時～ 腰越学習センター

その生物多様性の向上を物語る成果を、市長が国際会議でアピールしましたが、ほとんどの市民は市長が発表した内容はもちろん、発表した事実すら、知りません。そこで、私たち市民協議会は市長ご自身の口から直接、緑地の近隣住民に、発表内容を語っていただく、と、下記の報告会を計画しました。

#### 市長報告会「広町緑地の生物多様性がこんなに豊かに」

- ◇ 28日(日) 午後1時～2時半
- ◇ 腰越学習センター地下、第4集会室
- ◇ 入場無料

主催 鎌倉広町の森市民協議会

#### 緑地を守っているのは市民協議会だ

市民協議会は約8年前、鎌倉市が広町緑地の買い取りを決めてすぐ、生物多様性の向上をめざして発足。それを母体として生まれ、その後の参加市民も加えた各グループとともに、田んぼや畑の復元、森や散策路の手入れといった保全活動をしつつ、市民と緑地の接点を広げています。各グループは先週、収穫祭を催して、緑地の収穫物をその場で調理し、おにぎりや焼き芋を実費で提供して、多数の市民に喜ばれました。

別の団体が自治会・町内会の回覧板などを通じ、それらの活動を、自分たちがやっているかのような報告・宣伝をしています。その団体は保全活動をほとんどしていません。

緑地の豊かな自然を、毎週末、実際に汗を流して守っているのは、どういう市民団体か。報告会では、それもお説明します。

(お問い合わせ：豊田23-3471)